

## 口永良部島

### 1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは 2 (やや活発な火山活動)でした。

### 2 概況

火山性地震はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態です。

### 3 噴煙活動の状況

監視カメラによる観測では新岳・古岳からの噴煙は観測されませんでした。

### 4 地震・微動活動の状況(図 1 ~ 3)

- ・火山性地震の月回数は 164 回(9月:201回)とやや多い状態が続いています。
- ・火山性地震の震源は 3 個求まり、いずれも新岳火口付近のごく浅い所に分布しており、これまでと大きな変化はありません。
- ・火山性微動の月回数は 3 回(9月:10回)と減少しました。

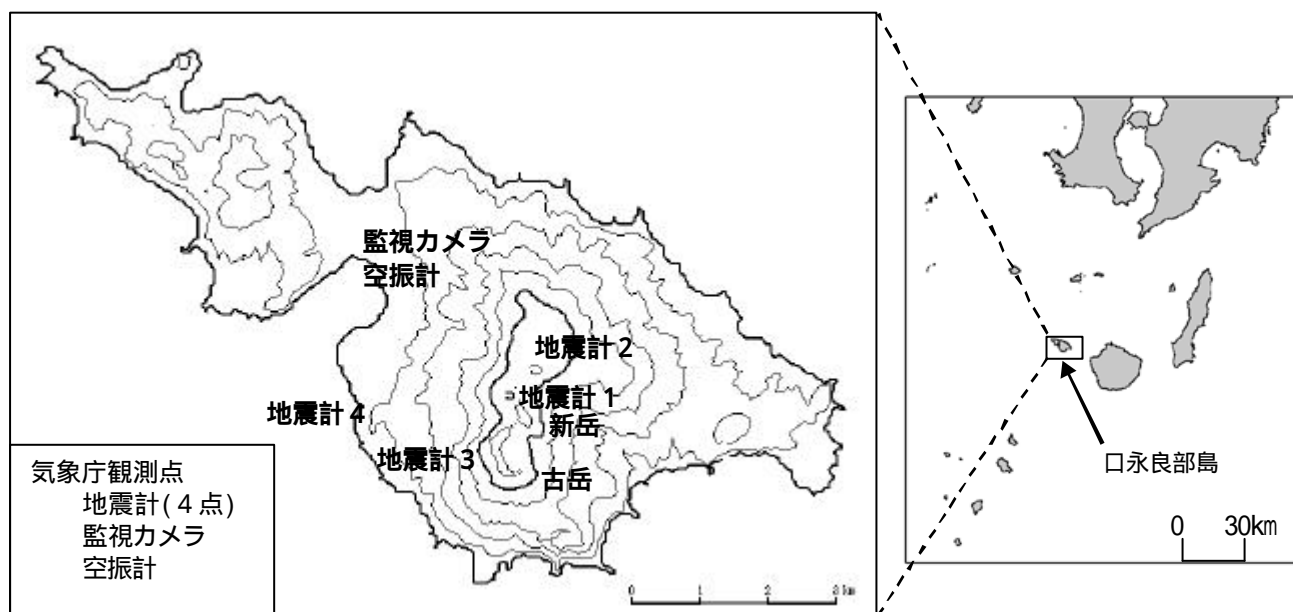


図 1 観測点位置図

資料は、気象庁のデータその他、京都大学のデータを利用して作成。

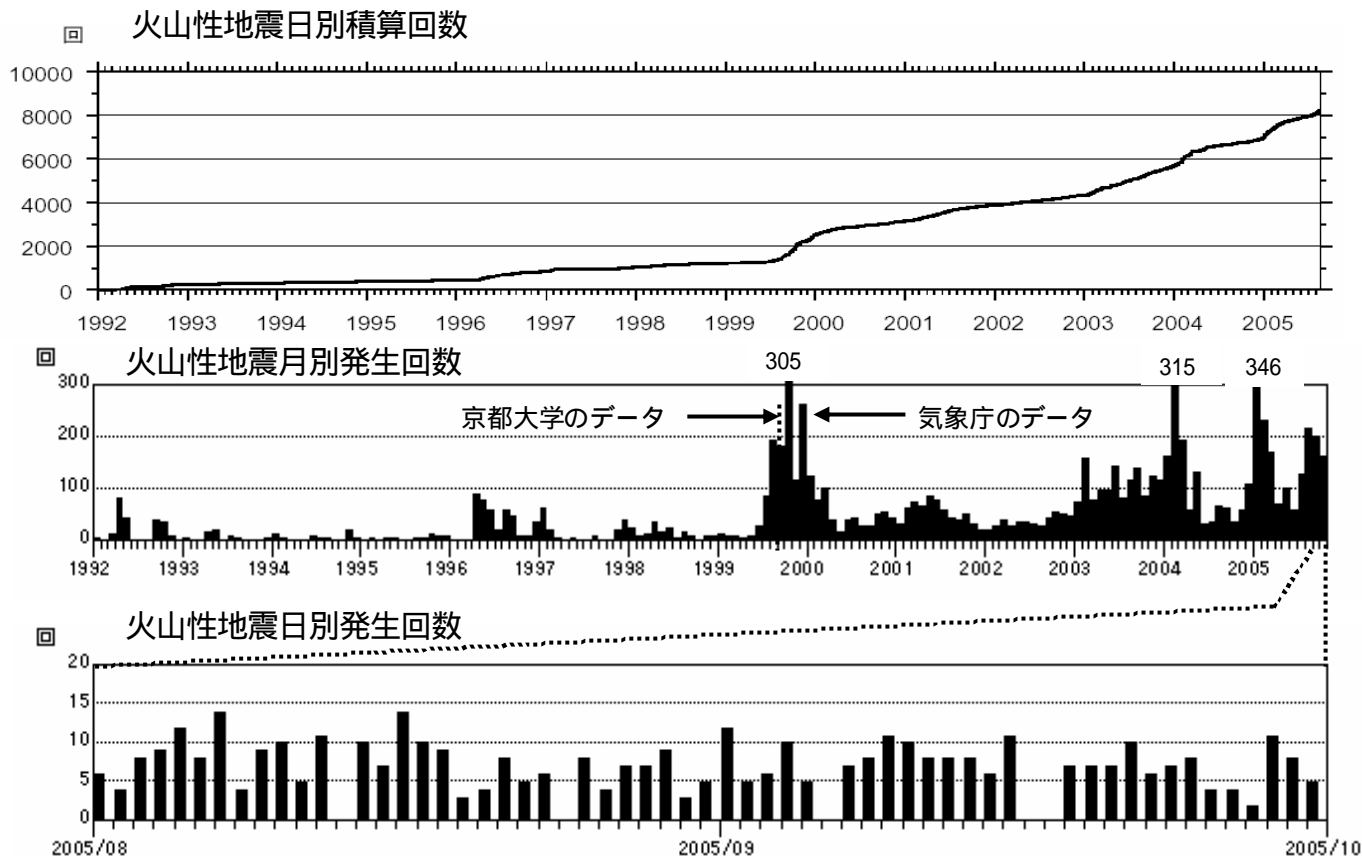


図2 火山性地震活動経過図(1992年1月1日～2005年10月31日)

2005年7月以降、火山性地震がやや多い状態で推移している。また、2003年2月～2004年5月、2005年1～3月は火山性地震がやや多い状態で推移した。

- ・ 1999年9月12日までは京都大学が口永良部島に設置した観測点で計数したデータを使用した。
- ・ 2002年12月22日03時～2003年1月11日12時まで観測機器障害のため地震計による観測は欠測した。また、2005年7月9日～9月18日までは地震計3のデータで回数を計数した。

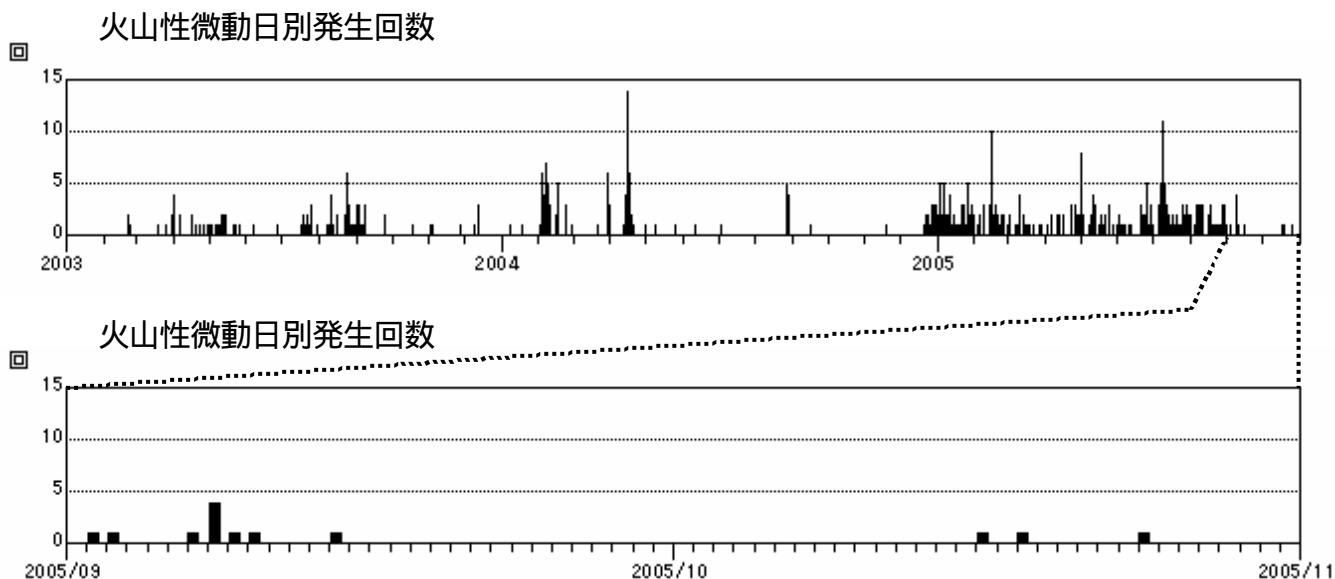


図3 火山性微動活動経過図(2003年1月1日～2005年10月31日)

- ・ 2005年7月9日～9月18日までは地震計3のデータで回数を計数した。

口永良部島

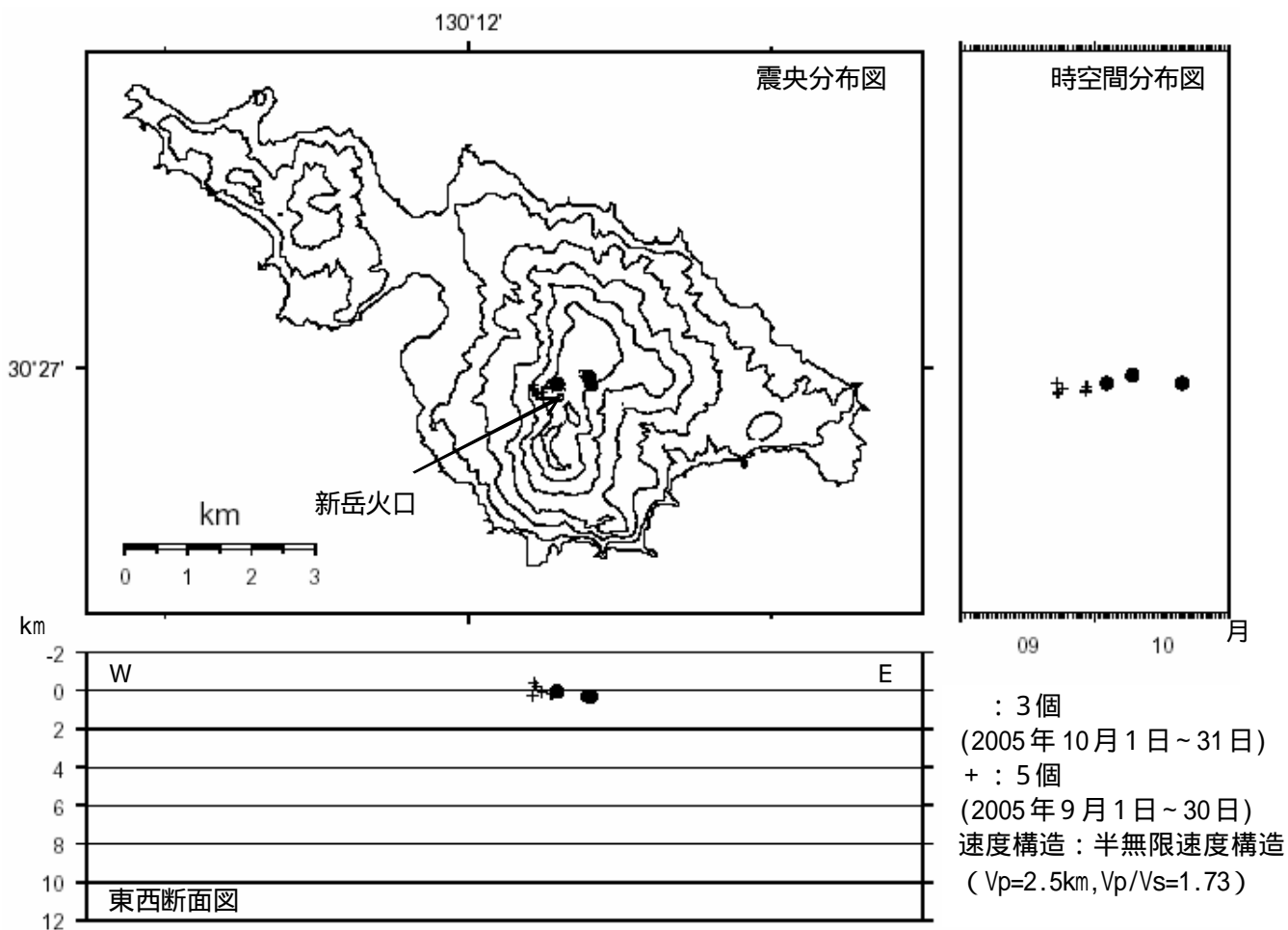


図4 火山性地震の震源分布図(2005年10月1日~10月31日)  
 2005年10月には、口永良部島内に3個の震源が求まった。震源は主に新岳火口付近、深さは海面下0~1kmで、これまでと大きな変化はありません。